

高格付債券ファンド (為替ヘッジ70) 毎月分配型 <愛称「73 (しちさん)」>

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第53期 (決算日2017年8月10日)

第54期 (決算日2017年9月11日)

第55期 (決算日2017年10月10日)

第56期 (決算日2017年11月10日)

第57期 (決算日2017年12月11日)

第58期 (決算日2018年1月10日)

作成対象期間 (2017年7月11日～2018年1月10日)

第58期末 (2018年1月10日)	
基準価額	9,575円
純資産総額	2,469百万円
第53期～第58期	
騰落率	0.7%
分配金 (税込み) 合計	150円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

- 運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「高格付債券ファンド (為替ヘッジ70) 毎月分配型」は、2018年1月10日に第58期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってきました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

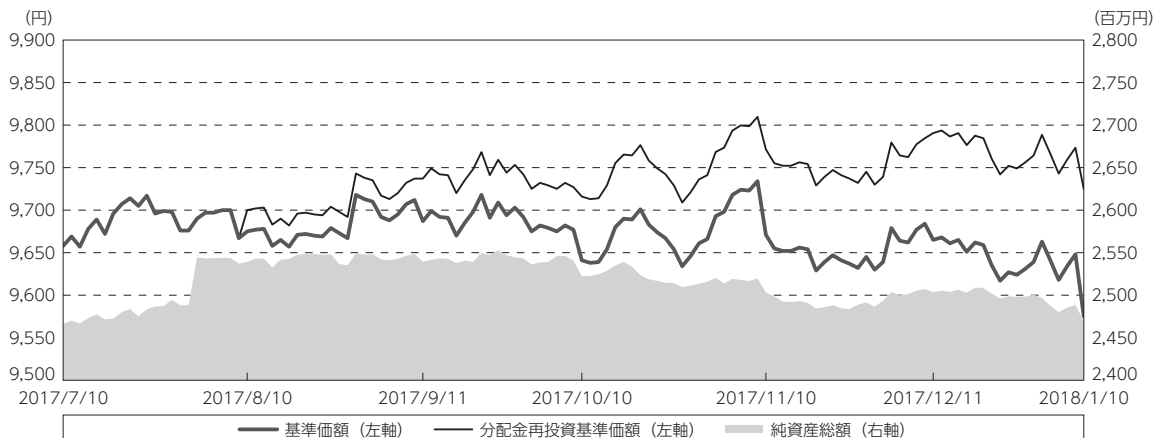
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
 午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年7月11日～2018年1月10日)



第53期首：9,658円

第58期末：9,575円 (既払分配金(税込み)：150円)

騰落率：0.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2017年7月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、純資産の70%程度に対して対円で為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減をめざしております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資対象である2つの投資信託証券それぞれにおいて、投資している債券からインカム収入を得たこと。
- ・投資対象である「高金利先進国ソブリン債券ファンド(適格機関投資家向け)」において、一部の投資対象国の国債利回りが期間の初めと比べて低下(債券価格は上昇)したこと。
- ・投資対象である「高金利先進国ソブリン債券ファンド(適格機関投資家向け)」において、投資対象国の通貨が対円で上昇したこと(ユーロ、ノルウェークローネ、オーストラリアドル)。

＜値下がり要因＞

- ・投資対象である「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」において、一部の投資対象国の国債利回りが期間の初めと比べて上昇（債券価格は下落）したこと。
- ・投資対象である「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」において、投資対象国の通貨が対円で下落したこと（ニュージーランドドル、アメリカドル）。
- ・投資対象である「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」において、為替ヘッジに伴う費用を支払ったこと。

1万口当たりの費用明細

（2017年7月11日～2018年1月10日）

項 目	第53期～第58期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	39	0.408	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(14)	(0.147)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(24)	(0.245)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.005	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.005)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	5	0.055	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(5)	(0.048)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	44	0.468	
作成期間の平均基準価額は、9,666円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

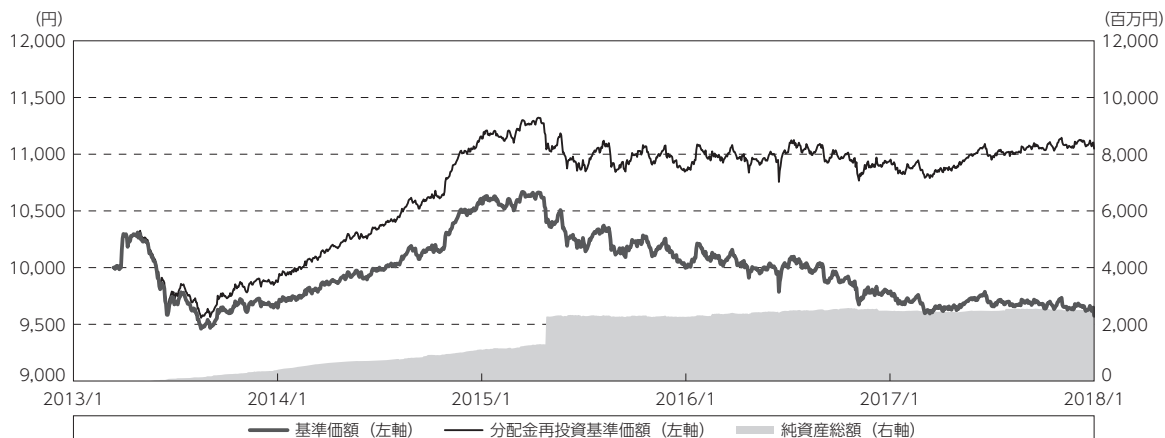
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2013年1月10日～2018年1月10日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの設定日は2013年3月25日です。

	2013年3月25日 設定日	2014年1月10日 決算日	2015年1月13日 決算日	2016年1月12日 決算日	2017年1月10日 決算日	2018年1月10日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,646	10,563	9,997	9,773	9,575
期間分配金合計(税込み) (円)	—	225	300	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.3	12.8	△ 2.6	0.7	1.1
純資産総額 (百万円)	3	395	1,101	2,259	2,477	2,469

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年1月10日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境

（2017年7月11日～2018年1月10日）

〔ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド〕投資対象国の債券市況

当ファンドが投資対象国とした債券市場では、10年国債利回りが期間の初めと比べてまちまちの動きとなりました。

期間の初めから2017年9月上旬にかけては、市場予想を上回る米国雇用統計の雇用者数の伸びなどが利回りの上昇要因となったものの、米国連邦準備制度理事会（F R B）議長がインフレ率は利上げが必要となるような状況ではないと言及したことや、北朝鮮情勢の緊迫化によるリスク回避の動きが強まったことなどが利回りの低下要因となり、投資対象国の10年国債利回りは概して低下しました。9月中旬から期間末にかけては、欧州中央銀行（E C B）が2017年以降の量的緩和策の縮小ペースについて慎重なスタンスを示したことや、米国連邦公開市場委員会（F O M C）議事要旨にてインフレ低迷に懸念が示されたことなどが利回りの低下要因となったものの、米国の税制改革法案の発表を受けた景気の拡大やインフレへの期待の高まり、F R Bが12月に追加利上げを決定したこと、ドイツ政府が2018年の国債発行額の増額方針を示したことなどが利回りの上昇要因となり、投資対象国の10年国債利回りは総じて上昇しました。

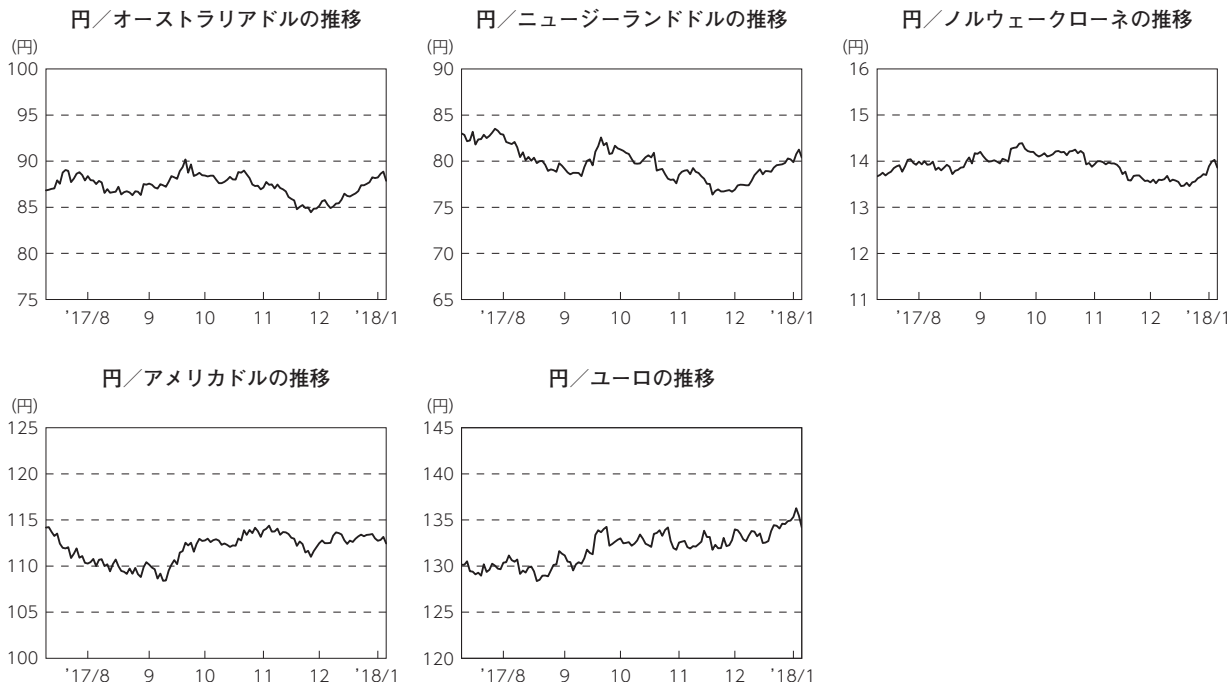
〔高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）〕投資対象国の債券市況

米国ではF R Bが金融政策の正常化を継続し、2017年12月に年内3度目となる利上げを実施しました。債券市場は、米国トランプ大統領の動静や税制改革の進展など主に米国の政治情勢に左右されました。

ユーロ圏ではE C Bが2017年10月に債券購入額の縮小を発表するとの期待から、ユーロが2017年後半に強含みました。E C Bは債券購入額を、2018年1月より、月間600億ユーロから同300億ユーロへ引き下げる一方、購入を9月まで継続すると発表し、予想よりもわずかにハト派的なスタンスを示しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（2017年7月11日～2018年1月10日）

（当ファンド）

当ファンドは、「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券を70%程度、「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券を30%程度組み入れることで、実質的に純資産総額の70%程度に対して対円で為替ヘッジを行ないつつ、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

（ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド）

投資対象国は、為替ヘッジ後の金利水準、市場の流動性、財政赤字の状況などを考慮して決定しました。期間の初め、アメリカ、ベルギー、スウェーデン、フランスの4カ国への投資を行ないました。ユーロ圏の債券利回りの相対的な上昇によりアメリカと比較して投資妙味が高くなったと判断したこと、またフランスの政治的リスクが極めて限定的であると考えられることなどから、フランスの投資比率を拡大させアメリカの投資比率を縮小させました。2017年8月は、7月に金利が大きく上昇し投資妙味が高

まったと考えてカナダを新規に組み入れ、一方、金利の低下幅の大きいアメリカの投資比率を縮小させました。9月は、8月に債券利回りが低下して投資妙味が低下し、また、良好なファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）から今後の利上げの余地が大きいと考えたカナダドル建債券を全売却しました。一方、相対的に景気のパフォーマンスが弱く、当面現状程度の政策金利が維持されると考えられるオーストラリアを新規に組み入れました。12月上旬には、債券利回りが大幅に低下し長短金利差の縮小から投資妙味が限定的となったと判断したオーストラリアの保有債券を全て売却しました。

その結果、期間末時点での投資対象国は、アメリカ、ベルギー、スウェーデン、フランスの4カ国となりました。

また、運用方針に従って、すべての外貨建資産について為替ヘッジを行ないました。

（高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け））

期間中、ECBが債券購入額の縮小を発表すると予想されたことから、投資対象国（通貨ベース）のうち、カナダからユーロへの入替えを行ないました。期間末時点での投資対象国（通貨ベース）は、アメリカ、ニュージーランド、オーストラリア、ノルウェー、ユーロの5カ国となりました。

ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）に留意しながら、国ごとのデュレーションを調整し、ファンドのリターンを最大化に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年7月11日～2018年1月10日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2017年7月11日～2018年1月10日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
	2017年7月11日～ 2017年8月10日	2017年8月11日～ 2017年9月10日	2017年9月12日～ 2017年10月10日	2017年10月11日～ 2017年11月10日	2017年11月11日～ 2017年12月11日	2017年12月12日～ 2018年1月10日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.258%	0.257%	0.259%	0.258%	0.258%	0.260%
当期の収益	18	18	14	19	16	14
当期の収益以外	6	6	10	5	8	10
翌期繰越分配対象額	1,054	1,048	1,037	1,032	1,023	1,012

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券を70%程度、「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券を30%程度組み入れ、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なう方針です。

（ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド）

引き続き、現在投資を行なっているアメリカ、ベルギー、スウェーデン、フランスの4カ国への投資を継続することを検討します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは現状程度に維持することを検討しますが、市場環境を考慮して機動的に変更する方針です。外貨建資産については為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け））

原則として、各国の金利水準、信用力、財政状況などのファンダメンタルズを考慮して投資を行なう方針です。債券市況、為替市況、各国のファンダメンタルズなどの変化にあわせて、投資比率並びに投資対象国（通貨ベース）およびポートフォリオのデュレーションの変更などを柔軟に検討する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

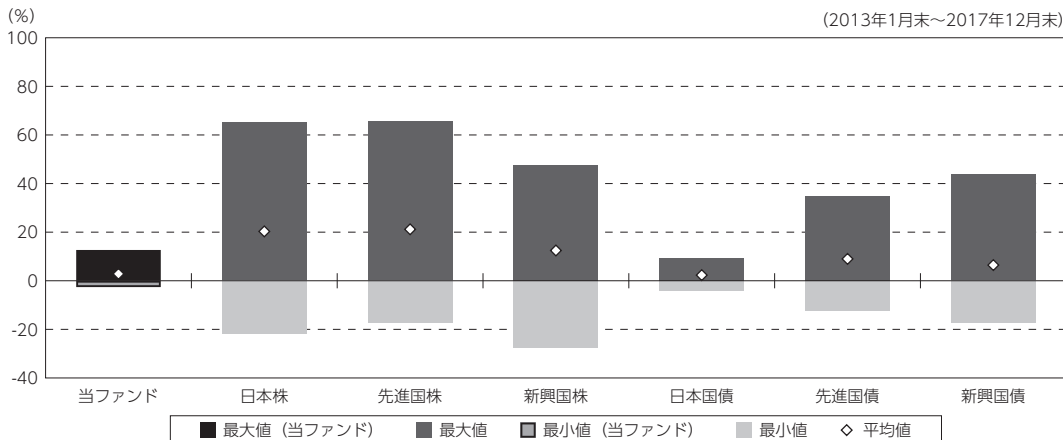
2017年7月11日から2018年1月10日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2013年3月25日から2028年1月11日までです。
運用方針	主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券に投資を行なう投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券 「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。原則として、純資産の70%程度に対して対円で為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減をめざします。
分配方針	毎決算時に、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	12.7	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 2.6	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	2.8	20.3	21.2	12.5	2.3	9.0	6.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年1月から2017年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2014年3月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いられる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2018年1月10日現在）

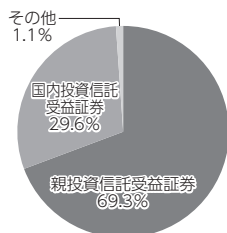
○組入上位ファンド

銘柄名	第58期末
	%
ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド	69.3
高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）	29.6
組入銘柄数	2銘柄

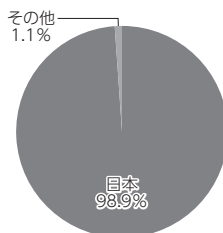
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

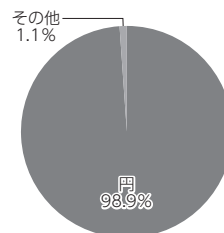
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第53期末	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末
	2017年8月10日	2017年9月11日	2017年10月10日	2017年11月10日	2017年12月11日	2018年1月10日
純資産総額	2,539,011,448円	2,539,405,975円	2,522,421,023円	2,503,152,103円	2,503,695,223円	2,469,335,928円
受益権総口数	2,624,367,605口	2,621,440,698口	2,616,232,275口	2,588,384,345口	2,590,454,761口	2,579,035,139口
1万口当たり基準価額	9,675円	9,687円	9,641円	9,671円	9,665円	9,575円

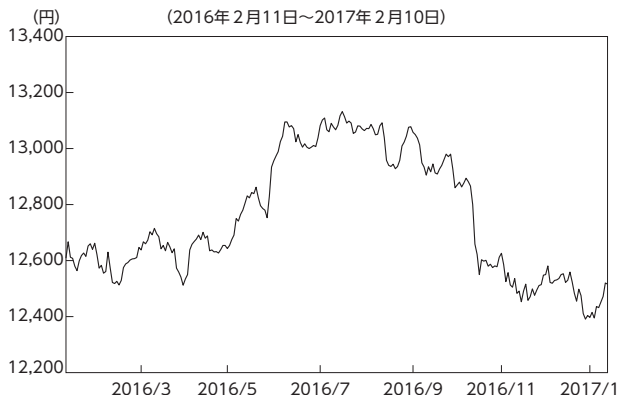
（注）当作成期間（第53期～第58期）中における追加設定元本額は200,748,512円、同解約元本額は175,212,425円です。

組入上位ファンドの概要

ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド

【基準価額の推移】

(2016年2月11日～2017年2月10日)



【1万口当たりの費用明細】

(2016年2月11日～2017年2月10日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用	2	0.013
(保管費用)	(2)	(0.013)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	2	0.013

期中の平均基準価額は、12,759円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2017年2月10日現在)

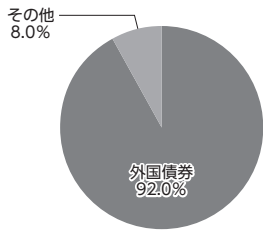
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	BELGIUM KINGDOM 4.5% 2026/3/28	国債証券	ユーロ	ベルギー	9.9
2	BELGIUM KINGDOM 2.6% 2024/6/22	国債証券	ユーロ	ベルギー	6.7
3	EUROPEAN INVESTMENT BANK 3.75% 2032/6/1	特殊債券	スウェーデンクローナ	国際機関	6.3
4	NETHERLANDS GOVERNMENT 5.5% 2028/1/15	国債証券	ユーロ	オランダ	5.7
5	EUROPEAN INVESTMENT BANK 1.75% 2026/11/12	特殊債券	スウェーデンクローナ	国際機関	5.4
6	UK TREASURY 5% 2025/3/7	国債証券	イギリスポンド	イギリス	4.3
7	MANITOBA (PROVINCE OF) 3.05% 2024/5/14	地方債証券	アメリカドル	カナダ	4.2
8	SWEDISH GOVERNMENT 2.5% 2025/5/12	国債証券	スウェーデンクローナ	スウェーデン	4.0
9	KOMMUNINVEST I SVERIGE 1% 2021/9/15	特殊債券	スウェーデンクローナ	スウェーデン	3.5
10	EUROPEAN INVESTMENT BANK 1.25% 2025/5/12	特殊債券	スウェーデンクローナ	国際機関	3.5
	組入銘柄数		42銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

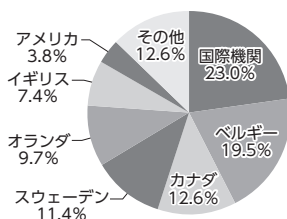
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

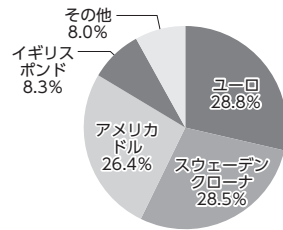
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2017年7月11日～2018年1月10日)

項 目	第53期～第58期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬	17	0.174
(投 信 会 社)	(16)	(0.163)
(販 売 会 社)	(-)	(-)
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)
(b) そ の 他 費 用	1	0.012
(保 管 費 用)	(1)	(0.008)
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)
(印 刷 費 用)	(0)	(0.002)
合 計	18	0.186

作成期間の平均基準価額は、9,518円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

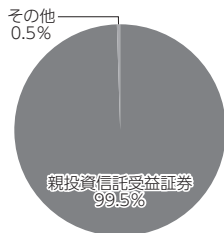
(2018年1月10日現在)

銘 柄 名	第58期末
高金利先進国債券マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

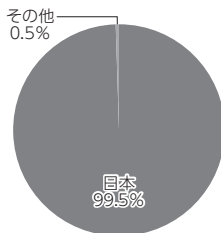
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

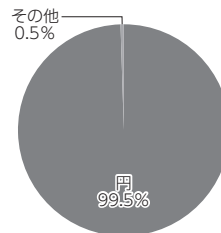
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



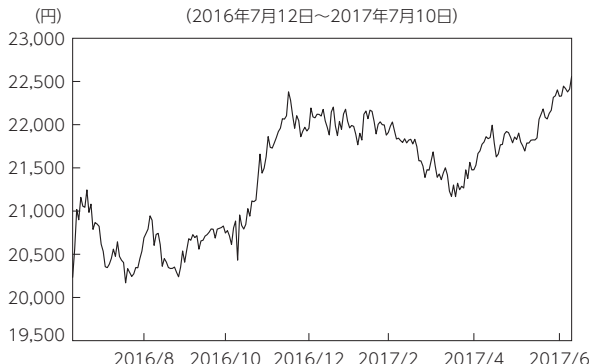
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

＜ご参考＞ 高金利先進国債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年7月12日～2017年7月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	4	0.016
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.016)
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)
合 計	4	0.016

期中の平均基準価額は、21,462円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

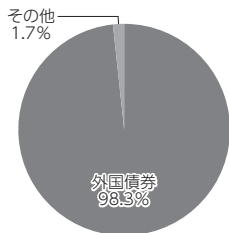
【組入上位10銘柄】

(2017年7月10日現在)

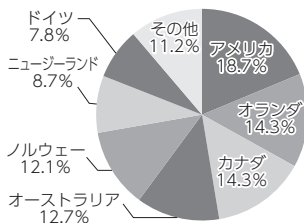
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	BK NEDERLANDSE GEMEENTEN 9.5% 2018/2/8	特殊債券	ニュージーランドドル	オランダ	7.0
2	TSY INF1 IX N/B 0.125% 2018/4/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	4.8
3	NEW ZEALAND INDEX LINKED 2% 2025/9/20	国債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	3.5
4	US TREASURY N/B 2.375% 2027/5/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	3.1
5	BRITISH COLUMBIA PROV OF 2% 2022/10/23	地方債証券	アメリカドル	カナダ	3.0
6	NORWEGIAN GOVERNMENT 1.5% 2026/2/19	国債証券	ノルウェークローネ	ノルウェー	2.6
7	NORWEGIAN GOVERNMENT 1.75% 2025/3/13	国債証券	ノルウェークローネ	ノルウェー	2.5
8	US TREASURY N/B 2% 2025/2/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	2.3
9	QUEENSLAND TREASURY CORP 3% 2024/3/22	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.2
10	TREASURY CORP VICTORIA 5% 2040/11/20	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.1
	組入銘柄数		85銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

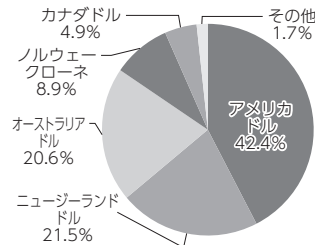
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。